

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語Ⅲ A
科目基礎情報						
科目番号	0049		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子制御工学科		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	4		
教科書/教材	LANDMARK I、Ⅱ(啓林館)、〔参考書・補助教材〕ワークブック(啓林館)、ウィズダム英和辞典(三省堂)、ズーム総合英語 New Edition、Zoom English Grammar 27 New Edition、夢をかなえる英単語 新ユメタン 1 (アルク)、20,000 Leagues Under the Sea(桐原書店)、G-TEC for Students [オンライン教材]					
担当教員	嵯峨原 昭次					
到達目標						
1. 内容やテーマについて説明できる。 2. 各文法項目の用法を知り、日本語に翻訳できる。 3. 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	内容やテーマについて、深く理解し、適切に説明をすることができる。		内容やテーマについて、ある程度理解し、ある程度説明をすることができる。		内容やテーマについて、理解しておらず、説明ができない。	
評価項目2	各文法項目の用法を深く知り、適切な日本語に翻訳できる。		各文法項目の用法をある程度理解し、日本語に翻訳ある程度翻訳できる。		各文法項目の用法の理解がなされておらず、適切な日本語に翻訳することができない。	
評価項目3	話し手・書き手の意図を深く理解し、音声・文字で適切な応答ができる。		話し手・書き手の意図に対して、ある程度理解し、音声・文字である程度応答ができる。		話し手・書き手の意図が理解できず、音声・文字で適切に応答ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。					
授業の進め方・方法	・ 授業では、できるだけ多くの英語に触れ、また英語での応答が求められる。 ・ 予習プリントを授業前に配布されるので、準備をして授業に参加すること。 ・ ワークブックは、課題としての提出も求められるが、授業内容の確認をする際に授業中でも使用する。					
注意点	・ 英和辞典を持参すること。 ・ 予習・復習を十分にを行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・ Orientation ・ G-TEC for Studentsの模擬試験		・ シラバスを通じて、授業の概要、学習方法を把握できる。 ・ G-TEC for Studentsの概要について把握できる。	
		2週	LANDMARK I Lesson 09 Space Elevator Intro, Part 1		・ 内容やテーマについて説明できる。 ・ 仮定法過去の用法を知り、仮定法の意味・基本形を説明できる。 ・ 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。	
		3週	LANDMARK I Lesson 09 Space Elevator Part 2, 3		・ 内容やテーマについて説明できる。 ・ 倍数表現の用法を知り、その基本形を説明できる。 ・ 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。	
		4週	LANDMARK I Lesson 09 Space Elevator Part 4, 章末問題		・ 内容やテーマについて説明できる。 ・ 倍数表現の応用の用法を知り、その基本形を説明できる。 ・ 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。 ・ 当Unitの学習項目について説明できる。	
		5週	LANDMARK I Lesson 10 Friendship over Time Intro, Part 1		・ 内容やテーマについて説明できる。 ・ 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。	
		6週	LANDMARK I Lesson 10 Friendship over Time Part 2, 3		・ 内容やテーマについて説明できる。 ・ 関係代名詞の非制限用法、仮定法過去完了形の用法を知り、その基本形を説明できる。 ・ 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。	
		7週	LANDMARK I Lesson 10 Friendship over Time Part 4, 章末問題, Wrap Up		・ Lesson 10の学習項目について説明できる。 ・ 内容やテーマについて説明できる。 ・ 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。	
		8週	LANDMARK II Lesson 01 I'm the Strongest! Intro, Part 1		・ 内容やテーマについて説明できる。 ・ S(=知覚動詞)+V+O+C(=動詞の原形)の用法を知り、日本語に翻訳できる。 ・ 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。	

	2ndQ	9週	LANDMARK II Lesson 01 I'm the Strongest! Part 2,3	・内容やテーマについて説明できる。 ・付帯状況を表すwithの用法を知り、日本語に翻訳できる。 ・G-TECのreadingの概要を知り、説明できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。
		10週	LANDMARK II Lesson 01 I'm the Strongest! Part 4,章末問題, Wrap UP	・内容やテーマについて説明できる。 ・繰り返しを避けるための省略の用法を知り、説明できる。 ・G-TECのlisteningの概要を知り、説明できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。
		11週	LANDMARK II Lesson 02 Tokyo's Seven-minute Miracle Intro, Part 1	・内容やテーマについて説明できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。
		12週	LANDMARK II Lesson 02 Tokyo's Seven-minute Miracle Part 2,3	・内容やテーマについて説明できる。 ・過去完了形の用法を知り、説明できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。
		13週	LANDMARK II Lesson 02 Tokyo's Seven-minute Miracle Part 4, 章末問題	・内容やテーマについて説明できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。
		14週	LANDMARK II Lesson 02 Tokyo's Seven-minute Miracle Wrap Up	・Lesson 02の学習項目を説明できる。 ・前学期の学習項目を説明できる。
		15週	前学期末試験	授業項目について達成度を確認する（ペーパー試験）。
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0